

# 緊急事態宣言下で五輪開催とんでもない

## 2021年 豪雨・土砂流災害 救援募金へご協力を

活発な梅雨前線にともなう大雨により、各地で土砂崩れや河川の氾濫などの被害が広がっています。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

全国のみなさんに災害救援募金へのご協力を訴えます。

お預かりした救援募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者救援、被災自治体への義援金に充てます。募金は、次のところで受け付けています。

### 【郵便振替】

- ▶口座番号  
00170-9-140321
- ▶加入者氏名  
日本共産党災害募金係
- 通信欄に「2021年豪雨災害救援募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

8日、衆院議運委で塩川鉄也議員は、「五輪で海外から6万人が来日すれば感染がさらに拡大する。『コロナ対策に全力を集中し、東京五輪・パラリンピックは中止の決断をすべきだ』と強調。観客動員について、「緊急

事態宣言下でも『五輪ファミリー』などの観戦も認めるのか」「熱中症や新型『コロナ』から子どもを守ってほしい」という声が寄せられている。五輪に小中学生を動員する『学校連携観戦』はやめるべき」と批判しました。



（『しんぶん赤旗』提供）

## 五輪中止し、国民の命守れ

衆院議運委で  
塩川鉄也  
衆院議員

日本共産党の志位和夫委員長は8日、国会内で記者会見し、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く東京都に4回目の緊急事態宣言の発令が決定されたことについて、「緊急事態宣言のもとで、五輪・パラリンピック開催など『とんでもない』」宣言を発令しても、五輪開催にしがみついた態度をとり続ける限り、国民に対して矛盾したメッセージになる。それで

は、国民の感染抑止の協力を得ることはできず、宣言を発令しても実効あるものにならない」と強調し、「五輪中止を決断することこそ、最良の『コロナ対策になる』と強く主張しました。

①「政府がワクチンの供給責任を果たすと

とともに、正確な情報を正直に国民と自治体に伝えること」

②「ワクチン迅速接種とPCR検査大規模検査をセットで推進すること」

③補償の責任を果たす。「持続化給付金の第2弾をただちに支給、収束するまで持続的に支給する。生活が困窮している人への給付金の支給も急務」です。



（『しんぶん赤旗』提供）

## 中止の決断こそ 最良のコロナ対策

志位委員長が記者会見

### コロナ感染2458人

10日、新たに2458人の新型コロナウイルス感染症が確認されました。東京は950人、埼玉147人、茨城37人、群馬20人、栃木14人です。2400人をこえたのは6月5日以来、1ヶ月ぶりです。



訴える梅村さえ子前衆院議員(中)と大内くみ子  
党茨城県副委員長(右)=10日、水戸市

## 「5つの提案」

- ① 格差をただし、家計第一の政治に
- ② 憲法守り、立憲主義を取り戻す
- ③ 言いなり外交やめ、自主自立の外交へ
- ④ 「グリーン・リカバリー」自然と共生
- ⑤ ジェンダー平等を実現。個人尊重の政治を

みなさん、来るべき総選挙で市民と野党の共闘の力で、菅政権を倒し、「5つ提案」を実現、国民が安心して希望をもって暮らせる新しい政治をつくりましょう。

市民と野党の共闘で、菅政権にかわって

希望のもてる新しい政治を



大内くみ子  
党茨城県副委員長

梅村さえ子  
前衆議院議員

塩川 鉄也  
衆議院議員

比例代表は  
日本共産党  
(制度解説)



当選した19氏と志位委員長、小池書記局長(「しんぶん赤旗」提供)

快挙！  
都議選  
3連勝

共産党 19 議席  
女性議員 14 人 第一党

# 五輪中止

「五輪はやめるべきだ」都民の民意が示されました。

東京都議会議員選挙（7月4日投票）で、「五輪より命」と中止を訴えた日本共産党が現有18から19議席に前進し、再び野党第1党を維持。2013年、17年につづく都議選3連勝は、半世紀ぶりの歴史的快挙です。

## 菅自公政権に 大打撃

自民・公明は過半数（64議席）に及ばず、自民党は過去2番目に議席が少ない大敗北。感染拡大の中で五輪に暴走する菅自公政権に都民の深い怒りが示されました。